

● ● 議長 の 四 季 報 ● ●

- 1 0 月 4 日 東京都島嶼町村長会・島嶼町村議長会の第 2 回合同会議が島嶼振興公社にて開催
- 1 3 日 村民運動会に参加
- 1 8 日 平成 24 年第 2 回臨時議会
- 2 0 日 新島村防災訓練に参加
- 2 1 日 調布飛行場祭りに出席
- 2 4 日 第 63 回全国漁港・漁場大会が青森県で。議員 2 名と共に出席 (26 日まで)
- 2 7 日 第 2 回クサヤ祭りがお台場にて開催され状況等視察 (写真右)
- 3 1 日 日の出町議会議員の一行 7 名が来島。新島村議会議員と意見交換 (11 月 1 日まで)

- 1 1 月 6 日 東京都町村議長会とその現地研修会が青ヶ島村にて開催 (8 日まで)
- 1 0 日 新島ガラスアートフェスティバルに出席
- 1 3 日 全国離島議長会総会がグランドアーク半蔵門にて開催
- 1 4 日 全国町村議長会の大会がNHKホールにて開催
- 1 6 日 全国過疎地域自立促進連盟第 43 回定期総会がメルパルクホールにて開催
- 2 3 日 平成 24 年度新島村表彰式に出席

- 1 2 月 4 日 平成 24 年第 4 回定例会 (5 日まで)



編集後記

「知って行わざるは、知らざるに同じ」

貝原益軒

足元に「ゴミ」が落ちてい
るのに気づいたら拾います
か？それとも自分が捨てた
ものではないから拾う必要
はないと考えますか。又は、
いつか誰かが掃除してくれ
るだろうと思いますか。

確かにいま自分が拾わな
くても、いつか誰かがやっ
てくれるかもしれません。
また、たとえ「ゴミ」が落ちた
まま放置されていても不
愉快さは残るにせよ、大問
題に発展することは少ない
かもしれません。

しかし、この「ゴミ」の例を
仕事に置き換えてみると、
ちよっとしたミスや細かな
サービス、面倒な雑務に当
たります。そして、それら
はビジネス上、致命傷に発

展する可能性を持つていま
す。但し、見つけたそばか
ら、こまめに取り除けば、
大きな損害を防ぐことがで
きるでしょう。小さなミス
を発見できるように視野を
広く持ち、また、発見した
ミスは決してそのままにし
ない。

尚、「見て見ぬふり」や
面倒がって後回しにするこ
うな姿勢は、意外とまわり
の人達には分かってしまつ
たものです。せめて、そう
ならない様に心がけたいと
思います。

※貝原益軒

(かいばらえきけん)……
江戸時代の本草学者、
儒学者。

● 広報編集委員

戸田邦市